

令和7年6月26日(木)

小規模多機能居宅介護 宍道の里

事業所名称…社会福祉法人 縁むすび福祉会 小規模多機能型居宅介護 宍道の里

サービス種類…地域密着型小規模多機能型居宅介護

会議開催日… 令和7年6月26日(木)

開催場所…小規模多機能型居宅介護 宍道の里

出席者

事業所	3	名	事業所	0	名
利用者家族	0	名	地域代表者	1	名
松江市職員	1	名	地域包括支援センター	0	名
知見を有する者	0	名	その他(理事)	0	名

議事

利用状況

登録者数 8名 (男性 3名 女性 5名)

要支援1 0名 要介護1 1名 要介護3 0名 要介護5 0名

要支援2 3名 要介護2 3名 要介護4 1名 申請中 0名

平均要介護度 1.75 平均年齢 77.3 歳

曜日別利用者数

	月	火	水	木	金	土	日
通い	0	4	0	1	3	2	1
訪問	3	1	1	3	1	3	3
泊り	1	3	3	3	2	2	2

活動状況報告

- ・カレンダー作成
- ・季節のぬり絵
- ・散歩
- ・広告紙を使い箱をつくろう

～作品の作成～

- ・青空にすいすい鯉のぼり
- ・ミツバチとお花のさわやか吊り飾り
- ・カエルのびよん壁飾り
- ・ふんわりあじさいの置き飾り
- ・カエルの親子フレーム
- ・あじさいフレーム
- ・ひまわりとセミフレーム

(1)感染症対策として、マスクの装着を行っています。

季節感を感じて頂けるようにレクリエーション中心に作品が出来上がっています。

散歩に出かけたり、たくさんの作品を作成したりして、楽しまれています。

事故・ヒヤリ報告

ヒヤリハット: お昼ごろから不穏となり、涙ぐみながら事務所の方へ向かわれたため、職員が付き添いを行う。宍道の里から宍道楽苑に向かう渡り廊下に出られた途端、早足で手すりに駆け寄り

「もう私、死んでしまいます。」と言い手すりを飛び越えようとした。

対策： 現在も行っているが、外に出られる際は必ず職員が付き添う。
再度職員同士で周知する。

ヒヤリハット： 朝9時40分ごろ居室を確認した際は休んでおられるのを確認していたが、その後他のご利用者の居室に入っていた際、宍道楽苑の職員より、本人らしき人が楽苑の外を歩いておられると報告がある。楽苑の外に確認に行くと、ご本人が宍道楽苑の敷地内におられるのを確認する。当日は朝から帰宅願望があり表情も陰しく何度も外へ出ようとしていた。

対策： ホールを無人にしないため、水分補給やパツと交換の時間を変更する。

事故報告： お昼の1時過ぎ、「ドスン」と音がして確認をすると、宍道の家で左側臥位で転倒しておられた。
転倒後「腰を打った」と言われたため、湿布を貼り様子を見ていたが、ご本人より「腰が痛く座ることができない」と言われたため、病院へ受診する。
受診の結果、第一腰椎圧迫骨折のため、入院となる。
午前中、足の装具を新しくし、その装具を装着し1本杖で歩こうとされ杖が滑り転倒されたようであった。

対策： 普段は車いすで移動が多いが、杖で歩行したいときは、必ず職員に声を掛けてもらうようご本人へ伝え、職員間でも周知する。

その他

特になし

松江市職員 「ヒヤリハットが2つありますが」

施設長 「どちらも同じご利用者様で、不穩になられたりすることが多く、ご自分でスムーズに歩かれるので、少し目を離した隙に遠くまで歩いて出てしまわれることもあり、色々工夫をしながら対応をしています。」

松江市職員 「これまでも外に出られたりすることがありましたか？」

施設長 「職員がちょっと目を離したときに、おられなくなることが今までも何度かあり、ご自宅でも同じようなこともあり、現在長期で宍道の里をご利用いただいている方です。
ちょっとしたことで不穩になられ、外に出ようとなされたり、マイナスな言葉を発せられることも多く、職員の中で、どのようにご本人が安心して過ごしていくことができるか、現在施行錯誤しているところです。」

松江市職員 「色々な施設の運営推進会議に参加をしているのですが、外に勝手に出て行かれる方のお話を聞くことも多く、どの施設も対応に苦慮しておられると聞いています。
どの施設も大変な中で対処しておられ、こちらの施設も大変であると思いますが事故のないように対応していただけたらと思います。」

施設長 「とにかく安全に過ごして頂けるように気をつけていきたいと思います。」

地域代表者 「何人の職員で対応しておられるかわかりませんが、職員の皆さんのコミュニケーションもしっかりしていないと事故に繋がることもあるかと思いますので、気をつけていただけたらと思います。」

施設長 「引き続き、職員同士で連携を取り気をつけていきたいと思います。」